

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
経営財務論Ⅱ financial management Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		
2単位	講義	選択		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
経営学Ⅰ・Ⅱ、経済学、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、証券と金融、経済学、ファイナンシャルプランナーⅠ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅡ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
國分三郎	本館 2F	水曜日 13:00~14:00	授業中に指示します	
授業の概要				
本講座では、経営財務論Ⅰで学んだ今日の経営財務論の基本的な概念や理論にもとづき、企業の財務活動を考える。ここでは、企業の投資・調達行動を考察したのちに投資行動の決定基準を考察する。さらに、不確実性を考慮した投資の決定基準を取り上げる。				
授業の到達目標				
①国際的な大企業の投資決定の方法と手続きを理解することができるようにする。 ②投資決定における各種の採択基準の課題を理解することができるようにする。 ③数値例をとおして投資の経済計算することができるようにする。				
授業の方法				
講義				
学習の成果				
①現代企業の投資決定行動の理論的背景を理解して説明することができる。 ②現代企業における投資決定理論を理解して説明することができる。 ③投資決定基準の理論的矛盾を理解して説明することができる。 ④投資計算に基づき投資の代替案の中から合理的な投資案を選択し説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	資本運用の意義(経営財務からみた企業の行動、経常支出と資本支出、例外事例)			
第3回目	投資の分類(投資とは、Jeol Deanの投資分類、独立的投資と相互依存的投資)			
第4回目	投資プロジェクトの分析(投資プロジェクトの分析とは、投資プロジェクトの基礎概念、投資プロジェクトの過程)			
第5回目	投資の確実性と不確実性(確実な投資プロジェクトと不確実な投資プロジェクト)			
第6回目	回収期間法(回収期間法とは、投資プロジェクトの採択、回収期間法の利点と問題点)			

第7回目	会計の利益率法(会計的利益とは、会計的利益率法による投資の評価、会計的利益率法の問題点)	
第8回目	年額原価法(年額減価法により投資の評価、年額原価法の問題点)	
第9回目	現在価値法(貨幣の時間価値を考慮した計算法、現在価値の計算、現在価値法による投資の決定)、小テスト	
第10回目	年々のキャッシュフローが等しいときの現在価値計算	
第11回目	内部収益率法(内部収益とは、試行錯誤法による計算)	
第12回目	補完法による内部収益率の正確な計算	
第13回目	投資プロジェクトの順位づけ(評価が相反するプロジェクトの評価)	
第14回目	複数の解があるときの評価方法	
第15回目	まとめとテスト(一連の講座を振り返り、授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準(S)としては無遅刻無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行うこと。
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	最高水準(S)としては、基本的専門用語を90%正解すること。
中間・学期末試験	60%	最高水準(S)としては、課題の趣旨を理解して、必要な専門用語を駆使しながら論理的な一貫性をもって論述すること。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。講義のたびに資料を配布する。参考書：諸井勝之助『経営財務』東大出版会		
履修上の心得・ルール		
受講態度(特に私語禁止)および出席状況を重視する。無断欠席・遅刻は減点の対象とする。遅刻3回で無断欠席1回とする。		